

第63回日本核医学会学術総会  
第43回日本核医学技術学会総会学術大会

募金趣意書

2023年11月16日（木）～18日（土）

グランフロント大阪

コングレコンベンションセンター・カンファレンスルーム タワーB

(大阪府大阪市北区)

第63回日本核医学会学術総会

会長 細野 眞

(近畿大学医学部放射線医学教室 教授)

第43回日本核医学技術学会総会学術大会

大会長 木田 哲生

(滋賀医科大学医学部附属病院放射線部 診療放射線技師長)



## 第 63 回日本核医学会学術総会 開催にあたってのお願い

このたび、第 63 回日本核医学会学術総会の会長を務めさせていただくこととなりました。

会期は 2023 年 11 月 16 日 (木) から 18 日 (土)、会場はグランフロント大阪のコングレコンベンションセンター・カンファレンスルーム タワーB です。多くの交通機関が乗り入れる大阪梅田地区に位置し全国どちからご来場いただく方にもアクセス良好です。現地に加えて Web 配信も実施するハイブリッド形式の開催を予定しています。

第 63 回日本核医学会学術総会は、国立大学法人滋賀医科大学医学部附属病院放射線部 診療放射線技師長の木田哲生先生が大会長を務められる第 43 回日本核医学技術学会総会学術大会との合同の開催となりますので、力を合わせて準備を進めています。

テーマは「核医学の学びと創造 - 皆が主人公！」(Learn and Create Nuclear Medicine - Everyone is the Heroine/Hero!) としました。皆様おひとりおひとりが主人公となって核医学の学びを楽しみ、そのパワーが新しい核医学の創造につながっていくような学術総会にしたいと思っています。

私たちがいま暮らしている現在は核医学が目覚ましく進歩している時代です。腫瘍核医学の分野では核医学治療として神経内分泌腫瘍に対するルテチウム-177DOTATATE (ルテチウムオキソドトロチド) と褐色細胞腫・パラグングリオーマに対するヨウ素-131MIBG が 2021 年に相次いで承認されました。α治療としてラジウム-223 が 2016 年に承認され、それに続く α治療の開発に大きな力が注がれています。なおルテチウム-177DOTATATE の導入にあたって一般病室の個室を特別措置病室として用いる医療法施行規則の改正がなされたり、診療報酬のうえで放射線治療病室管理加算に配慮されたり、制度の整備が大きく進みました。心臓核医学では FDG のサルコイドーシスや大型血管炎、ピロリン酸や HMDP の心アミロイドーシスへの保険適用ができるようになり、半導体 SPECT が画像の鮮明度を飛躍的に高めました。脳核医学では認知症の治療薬に期待が集まる中、アミロイド PET 製剤が承認されて近い将来の保険適用を待っています。

さて会期に先だて国際放射線防護委員会 ICRP の第 7 回国際シンポジウム (ICRP 2023) が日本がホスト国となって 2023 年 11 月 6 日 (月) ~9 日 (木) 東京お台場で開催され、世界中から専門家が来日します。ICRP の活動の大きな柱のひとつは放射線医療の発展と安全ですが、私は 2017 年から ICRP 第 3 専門委員会 (医療分野) 委員を務めており、大阪でサテライトイベントを開催する計画です。

ちょうどグランフロント大阪周囲は大規模な再開発プロジェクトが進捗する真最中で、発展しつづける核医学の学術総会をお招きするに相応しいロケーションです。開催にあたりましては、諸経費ご多端の折、是非とも各社様のご賛同を賜りたく、何卒、ご検討いただきますようお願い申し上げます。

2022 年 11 月吉日

第 63 回日本核医学会学術総会  
会 長 細 野  
(近畿大学医学部放射線医学教室 教授)





## 第43回日本核医学技術学会総会学術大会 開催にあたってのお願い

時下ますますご清祥のことと、お慶び申し上げます。

僭越ではございますが、この度、第43回日本核医学技術学会総会学術大会の大会長を拝命いたしました。会員の皆様、関連企業ならびに関係の皆様にご挨拶とご案内を申し上げます。

会員の皆様におかれましては、平素より本学会を通じて核医学診療における検査技術の開発や精度向上のための研究や技術の普及・啓発にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。また、関連企業や各種団体各位におかれましては、核医学診断装置や計測機器・医薬品をはじめ、防護設備や周辺機器の開発や提供など、大きく核医学診療を支えて下さり、そのご支援に心より感謝申し上げます。

第43回日本核医学技術学会総会学術大会は、近畿大学医学部放射線医学教室教授の細野 眞先生が大会長を務められます第63回日本核医学会学術総会と合同で、2023年11月16日(木)～11月18日(土)までの3日間、大阪の玄関口、大阪駅直結のグランフロント大阪のコングレコンベンションセンターと隣接するカンファレンスルーム タワーBを会場に開催することが決定しました。

また、ICRP2023のサテライトイベント、アジア核医学技術学会(ASNMT)学術集事も会期中に開催される予定です。

2019年に発生したCovid-19は、それ以降、次から次へと寄せる感染の波により、2022年には世界で累計6億人を超す感染者に達し、経済や文化交流・医療の他、日常生活に至るあらゆる方面に影を落としています。そんな状況下でも、第40回大会以降、大会関係者のご尽力により、工夫された開催形式にて学術大会を停滞させることなく引き継がれてきました。この間、多様な学術参加が定着してまいりました。43回学術大会も会場と離れた地からも学会参加が可能となるように準備をしております。

本学術大会のテーマは「核医学の学びと創造 - 皆が主人公!」です。会員の皆様のおひとりおひとりが核医学の学びを楽しみ、そのパワーを新しい核医学の創造に繋げるといったシナリオの主人公になって頂き、そのシナリオ的一幕として本学術大会へご参加いただきたい思いを込めております。

開催にあたりましては、諸経費ご多端の折、是非とも各社様のご賛同を賜りたく、何卒、ご検討いただきますようお願い申し上げます。

2022年11月吉日

第43回日本核医学技術学会総会学術大会  
大会長 木田

(滋賀医科大学医学部附属病院放射線部 診療放射線技師長)



# 開催概要

■学会名称： 第63回日本核医学会学術総会・第43回日本核医学技術学会総会学術大会

■会長： 細野 眞 (近畿大学医学部放射線医学教室 教授)

大会長： 木田 哲生 (滋賀医科大学医学部附属病院放射線部 診療放射線技師長)

■会期： 2023年11月16日(木)～18日(土)

■テーマ： 核医学の学びと創造 - 皆が主人公！  
Learn and Create Nuclear Medicine - Everyone is the Heroine/Hero!

■会場： グランフロント大阪  
コングレコンベンションセンター・カンファレンスルーム タワーB  
〒530-0011 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 北館

■参加予定数：約2,000名

■参加対象者：核医学・放射線関連分野に携わる臨床・基礎医師、診療放射線技師及び医師・薬学関係者、基礎研究者

## ■開催計画概要

### ①口述発表

会長講演・大会長講演、特別講演、招待講演、シンポジウム、教育講演、一般講演

②学術展示：一般演題を選定し、ポスター演題として発表・討議を行う。

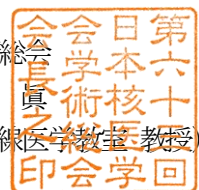
商業展示：放射線関連分野に関する機器、医薬品、書籍の展示を行う。

## 『企業活動と医療機関等との関係の透明性に関する指針』（透明性ガイドラインについて）

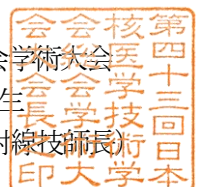
本会は、日本製薬工業協会、日本医療機器産業連合会の団体が定める「企業活動と医療機関等との関係の透明性に関する指針（透明性ガイドライン）」をはじめとする関係諸規範およびその精神に従い、医療機関等との関係の透明性に関する企業方針を理解し、協賛会社による本会の拠出金額等の情報開示に同意します。

2022年11月吉日

第63回日本核医学会学術総会  
会長 細野 眞  
(近畿大学医学部放射線医学教室 教授)



第43回日本核医学技術学会総会学術大会  
大会長 木田 哲生  
(滋賀医科大学医学部附属病院放射線部 診療放射線技師長)



# I. 収支計画書

## 【収入】

## 【支出】

項 目	金 額 (円)	項 目	金 額 (円)
<b>I 参加費</b>	<b>34,430,000</b>	<b>I 事前準備費</b>	<b>21,860,000</b>
1. 大会参加費 (会員：1,600名)	26,500,000	1. 事務局人件費	3,000,000
2. 大会参加費 (非会員：310名)	6,520,000	2. 事前参加登録システム運用費	2,500,000
3. 大会参加費 (看護師・初期研修医等 90名)	270,000	3. プログラム処理関係費	2,500,000
4. 情報交換会会費 (380名)	1,140,000	4. プログラム集制作関係費	3,260,000
<b>II セミナー共催費</b>	<b>42,680,000</b>	5. ホームページ・抄録アプリ等制作関係費	2,800,000
1. 共催セミナー収入	37,180,000	6. その他 印刷・制作物関係費	6,500,000
2. スポンサーシンポジウム収入	5,500,000	7. 通信・運搬関係費	300,000
<b>III 企業展示・書籍展示収入</b>	<b>6,200,000</b>	8. 準備会議費	500,000
<b>IV 広告収入</b>	<b>4,400,000</b>	9. 旅費交通費	500,000
1. プログラム集広告収入	1,980,000	<b>II 当日運営費</b>	<b>70,950,000</b>
2. ホームページバナー広告	660,000	1. 会場費	19,500,000
3. Work in Progress 広告収入	1,760,000	2. 機材費・WEB開催関係費	15,500,000
<b>V 補助金</b>	<b>3,000,000</b>	3. 会場設営費	8,350,000
1. 日本核医学会 補助金	2,000,000	4. 運営人件費	7,700,000
2. 日本核医学技術学会 補助金	1,000,000	5. 諸会合関係費	9,000,000
<b>VI 寄付金</b>	<b>10,000,000</b>	6. 招待・接遇関係費	9,400,000
1. 寄付金	10,000,000	7. 運営諸経費	1,500,000
<b>VII その他</b>	<b>500,000</b>	<b>III WEB開催費</b>	<b>3,500,000</b>
1. 関連会合会場費、備品費等	500,000	<b>VI 事後処理費</b>	<b>4,900,000</b>
		事後処理費	900,000
		納税準備金	4,000,000
収入合計	¥101,210,000	支出合計	¥101,210,000

## II. 寄付金募集要項

1. 募金名称 第63回日本核医学会学術総会・第43回日本核医学技術学会総会学術大会  
会長 細野 眞 / 大会長 木田 哲生
2. 募金目標額 10,000,000円
3. 募金の対象先 医学・薬学関係企業他
4. 募金締切 2023年11月15日(水)まで
5. 寄付金の使途  
2023年11月16日(木)～18日(土)の3日間、大阪市のグランフロント大阪  
コングレコンベンションセンター・カンファレンスルーム タワーBで開催される、  
第63回日本核医学会学術総会・第43回日本核医学技術学会総会学術大会の事前準備  
および当日運営費用に充当します。
6. 寄付金のお申し込み方法  
本学術総会・大会ホームページからオンラインでお申し込みください。  
<http://www.congre.co.jp/jsnm-jsnmt2023/>
7. 寄付金の払込方法  
金融機関：りそな銀行  
支店名：泉北支店(支店コード：227)  
口座種別：普通  
口座番号：0457787  
口座名義：第63回日本核医学会学術総会・第43回日本核医学技術学会総会学術大会  
(カ：ダ イロクジ ヨサカニホカクカ カカカ ジュウカイ ダ イジ ヨサカニホカクカ ケジ ユツカク  
カヨカカ ジュウカイ)  
※上記銀行口座は第63回日本核医学会学術総会・第43回日本核医学技術学会総会学術大会  
共通の口座となります。  
※口座名義入力文字数に上限がある場合は、上限文字数までご入力をお願いいたします。  
※振込が確認されたあと、寄付金受領証明証を送付いたします。寄付金のご入金時に寄付申込  
がない場合、受領書の発行が遅れる場合がございますのでご注意ください。
8. 税法上の取り扱い 免税措置はございません
9. 寄付についてのお問合せ/お申込み先  
大会事務局：第63回日本核医学会学術総会 大会事務局  
近畿大学医学部放射線医学教室  
〒589-8511 大阪狭山市大野東377-2  
TEL 072-366-0221 FAX 072-367-1685  
  
運営事務局：第63回日本核医学会学術総会・第43回日本核医学技術学会総会学術大会  
運営事務局 担当：上原/半田/清野  
〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-13 コングレビル 株式会社コングレ内  
Tel: 06-6229-2561/Fax: 06-6229-2556  
E-mail: [jsnm-jsnmt2023@congre.co.jp](mailto:jsnm-jsnmt2023@congre.co.jp)



